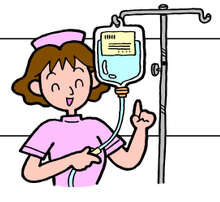
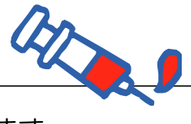
日帰り入院での化学療法を受けられる患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID：　　患者氏名：　　様

	入院日／治療日 月　日
目標	予定どおりに治療が終了する 症状出現時は適切な対処が受けられる
説明・指導	 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。 点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。 ふらつき・目まい等があるときは必ず看護師を呼んでください。 副作用症状がひどいときは、遠慮せずに話してください。
治療 処置 点滴	○○時　点滴の針を入れ準備します。○時頃から点滴を始めます。 **抗癌剤の主な副作用** 発症時期による症状と対処方法について 【点滴開始から1週間】 投与時過敏症状　投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息が苦しい、発熱、汗が出るなど様々な症状が出た場合、すぐに教えてくださ はき気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状　吐き気止めのお薬を使用します。 関節・筋肉痛　漢方や痛み止めの内服を使用することがあります。 手指のしびれ　手足のピリピリとしたしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が起こることがあります。 白血球減少、好中球減少　G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射をすることがあります。 【その他の副作用】 動悸・息切れ　下痢　口内炎　疲れやすい　強い腹痛　味覚異常　むくみ　血管痛 
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。 必要に応じて、吐き気止めなどの処方を行います。 その他、希望がある際は、お申し出ください。
検査	 血液検査をすることがあります。 次回受診時外来で採血をして、骨髄抑制（白血球減少、貧血、血小板減少）の有無を確認します。 白血球減少が認められた場合は、次回の化学療法を延期し、G-CSF製剤（白血球を増加させる薬）を注射します。 うがい、手洗いをし、マスクをつけ感染予防をしてください。 
食事	 食事の提供はありません。
生活・行動	特に制限はありません。
清潔	特にありません。気になることがございましたら、看護師までお声がけください。 
その他	抗癌剤点滴開始初期（特に１０分以内)に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出てください。

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
呼吸器内科